IOWebDOCインストールマニュアル

- インストールプログラム iowXXXsetup.jp.exe を起動します。(X はバージョンをあら わす数字です)(弊社ホームページよりダウンロードしていただきましたお客様は解凍 時指定されたフォルダより起動してください)
- 2. インストール先のフォルダを確認(あるいは参照ボタンで決定)し"次へ"をクリックします。

tallShield Wizard		
ンストール先の選択 セットアップがファイルをインストールするフォルタを選択し ⁻	てください。	XX
セットアッフりま、)次のフォルタうこ IOWebDOC V1.3.1 を	インストールします。	
このフォルダへのインストールレは、D欠へ]ボタンをワリックレ	ます。	
別のフォルダヘインストールする場合は、[参照]ボタンヌ	をクリックしてフォルタを選択してくだ	ion.
- インストール先のフォルダ		#827(D)

3. フォルダ名確認後"次へ"をクリックします。

InstallShield Wizard	×
フログラム フォルタブの選択 フログラム フォルタを選択してください。	A
セットアッフりは、ンカロリストされているフログラム フォルタリこつログ か、または既存のフォルダリストから1つを選択することも	ラムアイエンを追加します。新しい ワォルダ名を入力する できます。
フ [*] ログ [*] ラム フォルタ*(<u>P</u>): IFOWebDOCC V1.311	
既存のフォルダ(2): Adobe Acrobat 4.0 Fuji Xerox IOWebDOC V1.14.2 IOWebDOC V1.31 PDFオートコンバータ V1.01.03 スタードップ トレンドマイクロ ウイルフィブスター2002	
管理ツール (共通)	
	< 戻る(B) 次へ (N)> キャンセル

4. 設定内容を確認し"次へ"をクリックします。

InstallShield Wizard	×
ファイル コピーの開始 ファイルのコピーを開始する前に、設定内容を確認してください。	XX
プログラム ファイルのコピーを開始するための情報は次の通りです。設定を確認して、変更を必要 「戻る」ボタンをクリックします。現在の設定でよい場合は、じたへႨボタンをクリックするとファイルのコピー	要とする場合は を開始します。
現在の設定	
インストール先: F¥IOWebDOC	<u> </u>
プログラムフォルダ:IOWebDOC V1.3.1	
R	
InstellShield	
	キャンセル

5. ライセンスの入力画面が表示されますので、ライセンス通知書の内容を各入力フィー ルドに入力します。入力した内容が正しければ、各入力フィールドの右側にある"??" の文字が"OK"に変わります。入力終了後、OK をクリックします。

(体験版をご使用の方は最下部の体験版のところにライセンス番号を入力して下さい)

ライセンス入力									×
	123456789+123456	_	12345	_	1234	_	123		<u>O</u> K
IODOC Tool:		_		_		_		??	キャンセル(<u>C</u>)
IODOC Runtime:		-		-		-		??	
IOCELA Tool:		-		-		-		??	
IOCELA Runtime:		-		-		-		??	
IDA:		-		-		-		??	
体験版:		_		_		-		??	

6. セットアップ完了の画面が現れます。"完了"ボタンを押せばインストールは完了です。



ライセンス入力における注意点

インストール時にライセンスシートがない等の理由で 8.の操作をキャンセルした場合は ライセンスの入力を下記の操作で入力してください。

"スタート"=>"IOWebDOC…."=>"ライセンス"のメニューを選択するとライセンス設定の画面が表示されます。

まず、"ライセンス番号の入力"を選択してライセンスの入力を行ってください。

"ラインセンス番号の入力"を選択してライセンス番号入力フィールドの右側に OK の 文字が表示されていることをお確かめください。

もし NG の文字が表示されている場合はライセンス番号が正しく入力されていません。 正しく入力しても正常に動作しない場合は下記までご連絡ください。

株式会社 ワイ・エス・エス

〒210-0006 神奈川県川崎市川崎区砂子 2-5-19 川崎東相ビル TEL: 044-211-9332 FAX:044-211-9331 E-mail: eigyo@iothe.co.jp

環境変数

スタンドアロン型の場合はApplication Runtimeの動作する環境に、ネットワーク分散型で運用している場合はStorage Serviceの動作する環境に設定して下さい。

以下の表に従い、環境変数を設定して下さい。

PATH	IOWebDocをインストールしたディレクトリ直下のbinフォルダを 追加
CLASSPATH	IOWebDocをインストールしたディレクトリ直下のJavaIFフォルダ を追加

環境変数は、システム環境変数(SYSTEMユーザ権限の環境変数)に追加設定して下さい。 ユーザ環境変数(特定のログインユーザ権限の環境変数)に対して設定してもintra-martサ ーバ実行環境に対して設定が有効にならない場合があります。 環境変数の設定は、Windowsの環境変数設定画面で行います。[システムのプロパティ]ダイ アログを開いて、設定をして下さい。

IOWebDOC JAVA Interface 環境設定例について (D:¥tool¥IOWebDOC¥JavaIF¥setenv.txt)

◎ インストールディレクトリ

IOWebDOC: D:¥tool¥IOWebDOC JAVA Interface: D:¥tool¥IOWebDOC¥JavaIF

◎ CLASSPATH 環境変数に以下を追加して下さい。

D:¥tool¥IOWebDOC¥JavaIF

◎ バッチファイル用のコード

set PATH=D:¥tool¥IOWebDOC¥bin;%PATH% set CLASSPATH=D:¥tool¥IOWebDOC¥JavaIF;%CLASSPATH%